

## 土木学会安全問題研究委員会「特別講演会」開催のご案内

### “ Live Design - 危機管理への新たな展開 - ”

2001年9月11日にニューヨークで発生したテロ事件以来、アメリカでは危機管理への対応として、「ライブデザイン(Live Design)」の考え方が注目されています。ライブデザインとは、テロや大地震のように予想困難な大災害に対しては、建物の被害軽減を図るのではなく、災害発生時にIT技術を効果的に活用し、ライブ(リアルタイム)で情報収集を行い、その情報をもとに最適な避難経路の確保および避難経路への誘導を行って被害軽減を図るといったソフト防災の考え方です。

今年、度重なる台風の来襲により、日本各地で豪雨災害(土石流、斜面崩壊、河川氾濫など)や高潮災害が連続して発生し、大きな被害をもたらしました。また、新潟県中越地震により社会基盤や生活基盤が破壊され、いまなお多くの方々が避難生活を強いられています。予想外の地域や場所に、予想外の規模で、しかも突然発生した豪雨や地震に対して成す術もなかったというのが現状です。このような予想外の大災害に対して如何に対応するか、危機管理の在り方が問われています。日本における危機管理への新たな展開を考える上では、ライブデザインの考え方は非常に参考になると思われま

土木学会安全問題研究委員会(委員長:中山隆弘)では、日本における危機管理への新たな展開について考えるために、ライブデザインの提唱者である米国コロンビア大学のGautam Dasgupta教授をお招きして、以下の要領で特別講演会を開催することに致しました。なお講演会では、日本において行われているライブデザインの取り組みについても紹介することに致しております。新年早々でご多忙中とは存じますが、万障繰り合わせのうえご参加賜りますようお願い申し上げます。

1. 主催:土木学会安全問題研究委員会

2. 共催:早稲田大学理工学部

3. 開催日時:平成17年1月14日(金)13:00~16:00

4. 開催場所:早稲田大学62号館大会議室(<http://www.sci.waseda.ac.jp/campus-map/>)

5. プログラム:

(1) 13:00~13:10 開会挨拶 安全問題研究委員会委員長 中山隆弘 氏

(2) 13:10~14:50 "Rescue and Evacuation live broadcast after natural and manmade disaster by information-based Live Design paradigm"  
米国コロンビア大学教授 Gautam Dasgupta 氏

(3) 14:50~15:00 - 休憩 -

(4) 15:00~15:30 Live Designの概念構築プロセスの紹介  
香川大学工学部助教授 荒川雅生 氏

(5) 15:30~16:00 Live Designのための災害時避難シミュレーション  
香川大学工学部教授 白木 渡 氏

6. 参加費:無料

7. 参加申込み方法:

参加を希望される方は、白木 渡(香川大学工学部)宛に電子メール [shiraki@eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:shiraki@eng.kagawa-u.ac.jp) でお申し込み下さい。

申込み締切りは、1月11日(火)とさせていただきます。

ただし、会場の定員が70名になっておりますので、申込みが70名をオーバーした段階で受付を終了させていただきます。参加を希望される方は、お急ぎ下さい。